

おおぞら

札幌おおぞら法律事務所 〒060-0061 札幌市中央区南1条西10丁目 タイムスビル3階
TEL.011-261-5715 FAX.011-261-5705 E-mail:sapporo@ozoralaw.com



斜里町

残暑お見舞い申しあげます

今年に入ってからだけでも、様々な事件やイベントが、まるでジェットコースターのように、目の前を取りすぎていった。トリノ五輪にワールドカップ、ホリエモン騒動に村上ファンド、そして数々の痛ましい事件や災害、さらには戦争。その都度マスコミは大きく取り上げ、そしていつの間にか消えていった。はたしてそれらから私たちは、何かを学んでいるのだろうか。単に踊っている、踊らされているだけではないだろうか。

今私たちの回りには数多くの情報が飛び交っている。でも何が本当に必要な情報なのか。それを判断するのは、自分自身でしかありえない。そうしてはじめて自分自身の悩

みや考えが生まれてくる。

知らないうちに踊らされてはいけない。着飾った言葉や格好いい言葉である必要はない。自分で考えよう。自分で悩もう。その向こうに大切な何かが見えてくるはず……。日々の出来事に流されがちな自戒を込めて。

不順な天候が続きます。
みなさん健康には十分ご留意下さい。



途半ばにして思うこと

弁護士 田中貴文

4月1日から弁護士会の副会長を務めることになりました。定数内しか立候補がなかったので、2月中旬から会務を担当しています。やや5ヶ月が経過しましたが、朝の会議、昼の委員会、夜の委員会と、ほとんど事務所に出られない日もあります。手帳の日程はかなり先まで埋まってしまう。したがって、他の弁護士のように自転車に乗ったり、旅行に行ったりする時間は全くありません。もともと体を使うことは好まない性格ではあるものの、せめて温泉一泊旅行くらいはと思うのですが、家族は部活、受験その他でそれぞれ多忙を極めています。このようなハードな生活を過ごしていれば、多少はやせてもいいと思うのですが、体重はかつてないほど高い嶺に到達しようとしています。日々のストレスが、私をビールに走らせるのでしょうか。

こんな日々を過ごしていますが、継続して担当している事件に十分時間を割けないのが目下の悩みです。気になる事件がふたつあります。ひとつは中標津の高校生のバイク死の事件です。

今年の3月に検察審査会に審査申立をしましたが、7月20日に「検察官の不起訴は不



事務所旅行先の朝里の温泉宿にて
(中国人のスタッフに日本の弁護士・支援者が強制連行事件、毒ガス事件、慰安婦事件などに取り組んでいることをクドクドと説明する。困惑するスタッフ)

当」との議決が出ました。検察審査会の良心に敬意を表したいと思います。もうひとつは、中国人強制連行事件です。10月24日に札幌高裁の審理が結審します。思えば1999年1月に北京に行って以来の取り組みになりますので、6年半が経過しました。私が副会長になってから、学者尋問、被害者尋問の手続きに入りましたので、弁護団の仲間には多大な迷惑をかけています。会務は多忙ですが、結審となるとそうも言っただけではいられません。おそらく最高裁までのたたかいはなるでしょうが、高裁で地裁判決を乗り越える結果を得るために、根性を入れてがんばりたいと思います。

「あいさつ」の大切さ

弁護士 川島英雄

「おおぞら」のバックナンバーを読み直したところ、私の記事はほぼ、「野球」「健康（腰痛など）」「禁煙禁酒」のテーマの繰り返しであるということに気づきました。そこで、たまには全く違うテーマで記事を書いてみたいと思います。

私の兄が出張で滞在している関係で、最近、ドイツ（とオーストリア）に行きました。もともと聞いてはいたのですが、ドイツでは、お店の出入りのときなどに、必ずあいさつをすることが習慣になっているのだそうです。実際に行ってみると本当に、最初に「グーテンターク（こんにちは）」など、最後に「ダンケ（ありがとう）、チュス（バイバイ）」などのあいさつをお互いに交わすのです。外国人の場合、片言の英語程度でもいいようですので、片言の英語のあい

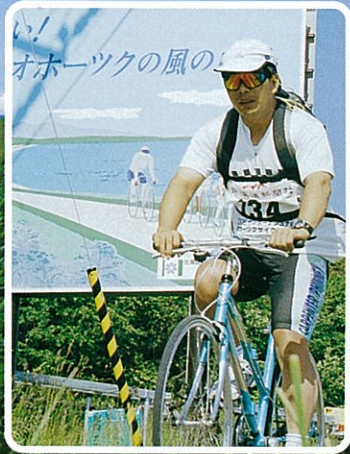


さつすらしめない人に対しては、ドイツの人は多少違和感を感じるのではないかと思います。私もカタコトながら、「グーテンターク」「ダンケ」などと話しかけましたが、そうすると相手もきちんとあいさつを返してくれました。たかが「あいさつ」ですが、あいさつを一言するだけで、何となく相手との距離感が近づいた気持ちになります。その後もとても会話がしやすくなったと思います（ぎこちない英語でしたが…。）。

日本では最近、メール（特に携帯電話のメール）の普及により、口頭でのコミュニケーションが減少してしまったと言われるようになりましたが、ドイツでの体験は、口頭でのコミュニケーションの大切さを感じさせられました。日本で同じ習慣を、とまではいかないと思いますが、ほんの少しでも、今以上に口頭でのコミュニケーションを大切にしていければいいなと思います。

弁護士 太田賢二

忘れてしまったものを 取り戻したい!



ゆめをのせて

(くもけんた R・O)

あさになるとぼくは
たいようさんといっしょに
あおいそらにでていきます

そらをまわっていると
いろいろなゆめにであいます
あのくもにのってみたいなあ
あのくもをたべてみたいなあ
あのくものうででねてみたいなあ

こんなせかいじゅうの
こどもたちのゆめにであいます

ぼくはゆめをのせて
そらをまわります
そしてよるになったら
そのゆめをとどけます
しずかなねむりのなかに

くさ

(くさこうへい K・O)

きょうもみんなのこえがする
あっちでは
にんげんがなにをやっているんだろう
いっかいだけでもいいからみてみたいなあ
ああ どうしてもみてみたい
そうだ
せがたかくなればみえるかもしれない
よーし、よいしょ、よいしょ
ぐんぐんのびるぞ
よいしょ、よいしょ

* * *

4年生になった息子たちは、確実に、素敵に、自分自身の感性を磨いています。

それらを忘れかけているお父さんは、オホーツクの風の中で少しは取り戻したかな？

* * *

彼らの素敵な感性を感じる一句。

おかあさん でんわにでると こえかわる
(さて誰でしょう……。)

離島旅行のススメ

弁護士 山田 暁子

7月初めに^{てうり}天売島と^{やぎしり}焼尻島に行ってきました。天売島・焼尻島は、北海道の北西に位置し、どちらも周囲約12km、3時間で島を一周歩いて回ってしまう小さな島です。今回のお目当ては焼尻島で毎年行われているウニ祭り。でも、焼尻島は、幻のラムといわれるサフォーク種の羊を育てていることで有名なので、私はこれも楽しみにしていました。天売島は、夏の間何万羽もの海鳥が渡ってくる島で海鳥の楽園と言われてい

ます。
1日目は羽幌港から高速船で天売島へ。日頃の行いのせいか、晴天です。島に着くと、早速たくさんの海猫がミャオミャオと出迎えてくれました。夕食前に島を一周。このときは海猫の姿ばかり目立ったのですが、驚いたのは、その後、もう一度海鳥が巣に戻って来るという夕暮時に出かけたときでした。何百、何千という数え切れないウトウという海鳥が空を埋め尽くし、矢のような勢いで地面に無数に掘られている巣穴めがけて飛んでくるのです。しかも、巣穴の側にはウトウが雛のために捕ってきた魚を奪おうと海猫が虎視眈々と待ちかまえています。あちらこちらでバトルが繰り広げられ、すごい光景でした。

翌日は朝一番の高速船で焼尻島へ。ウニ祭りでは漁港に露

天がずらりと並び、ウニ、ホタテなどの新鮮な魚介類とサフォークラムが威勢よく売られていて、豪快に網焼きにして堪能しました。その後、レンタサイクルをして島を回りました。写真は、牧草地をバックに撮ったものです。空は青く、潮風が爽やかに吹き、羊たちはのんびり昼寝をしていました。

夏の北海道を五感全部で満喫した旅でした。皆さんも、忙しい日常を忘れられる北海道の離島へ遊びに来ませんか？



今年11月に第一子を出産予定なので、10月から半年程度休暇を取る予定です。皆様には様々な点でご支援をいただき、本当に感謝しています。出産・育児で新たな視野を広げて復帰したいと思います。今後何かとご迷惑をおかけすることがあると思いますが、どうぞよろしく願いいたします。

事務局あいさつ

小野寺 可恵

この度、札幌を離れ、郷里の宮城県へと帰ることになりました。「おおぞら」では3年間、沢山のことを学ばせて頂きました。仙台でも、札幌での経験を活かし、「親切な事務員さん」になれば……と思います。お世話になった先生方、事務員さん本当に有難うございました！！

佐々木 敦子

家のベランダでミニトマトを育てています。初めて苗を買って育てているのですが、今では50センチ以上に成長しました！ 毎日の成長を見ているだけでも楽しいですが、今は家に帰ってトマトの実が赤くなっていないかなーと見るのがまた楽しいです。

小林 亜希子

小学校時代の同級生に偶然会い、そのまま話が盛り上がり何人かに声をかけ集まりました。話はつきず、時間があっという間に過ぎていきました。それぞれ進んだ道は違うけれど、それぞれの道でみんながんばっていて、たくさん刺激をうけました。楽しいひと時でした。

村川 幸

最近多国籍にはまっています。覚える事が絶対できない名前の料理と聞いたこともないビールを、少し怪しいお店でみんなにいただくのが大好きです。もともと好き嫌いが多く、かなりの失敗率ですが……。世界って本当に色々ななとそんな小旅行しながら実感しています。いつか本場も体験できたらと思います。

沢辺 千春

この度、約5年半の事務所生活を終え、退職させていただき事になりました。事務所生活はあっという間に過ぎて行きましたが、おおぞら事務所での経験は、私の中で大きな財産となりました。先生・事務局の皆さん、そして、在職中にお世話になった皆様、今まで大変お世話になりました。ありがとうございました。



岩田 本間
村川 小野寺
沢辺 小林
小坂 佐々木

本間 恵

美容(!)と健康のために、春からピラティスを習い始めました。もともと体が硬いのと運動不足だったので、自分の体にはまだまだ変化が見られませんが、今後も続けていければと思っています。しかしピラティスを始めてから、今までより食べる量が増えたような……。

小坂 美沙紀

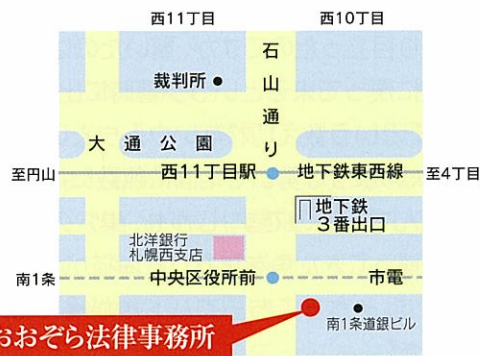
昨年12月からアルバイトとして勤務し始め、早7ヶ月が経ちました。まだまだ皆さんに迷惑をかけっぱなしですが、一日でも早く戦力となれるよう、たくさんのお話を吸収していきたいです。今後ともご指導のほどよろしくお願い致します。

岩田 明子

念願のバイクを購入しました。久しぶりの運転だったのでおそろる乗っていましたが、交差点の右折の先頭で「行ける!!」と思った瞬間にエンストしてしまい緊張とあせりであたふたしてしまいました。まだまだ運転は未熟者ですが、バイクで旅にでられたらいいなと考えています。

事務所からのご案内

- 1、8月12日(土)から15日(火)までお盆休みとさせていただきます。
- 2、営業時間は、平日の午前9時から午後5時30分までです。
- 3、法律相談は予約制ですので、必ず前もってお電話をいただくようお願いいたします。
また相談の際には、関係すると思われる書類等をご持参のうえ、原則としてご本人がおいでいただくようお願いいたします。
相談料は、30分5250円が基本です。



札幌 おおぞら法律事務所